

会計名等	水道事業会計	設置目的	安全でおいしい水を供給する。			
予 算	項 目	令和2年度	令和元年度	増減		
	収入	662,047	545,831	116,216		
	主な内訳	給水収益	492,121	434,775	57,346	
		長期前受金戻入	123,828	70,468	53,360	
		他会計補助金(一般会計繰入金)	28,103	21,846	6,257	
	支出	637,388	607,140	30,248		
	主な内訳	原水及び浄水費	175,173	162,986	12,187	
		総係費	82,748	58,644	24,104	
		支払利息及び企業債取扱諸費	52,788	56,299	△3,511	
	差引	24,659	△61,309	85,968		
	収入	453,185	351,581	101,604		
	主な内訳	企業債	396,800	304,500	92,300	
		出資金・補助金(一般会計繰入金)	55,215	45,922	9,293	
	支出	631,084	529,393	101,691		
主な内訳	拡張改良費	172,050	181,272	△9,222		
	浄水場整備費	225,669	137,304	88,365		
	元金償還金	218,716	195,757	22,959		
差引	△177,899	△177,812	△87			
予算概要 (予算の特徴)	<p>【3条予算(収益的収支)】 給水収益は、給水人口の減少等により有収水量は減となるが、令和2年10月からの料金改定を見込み、約57,000千円の増としている。 支出では、浄水場維持管理費の増、窓口業務等民間委託による委託費の増により、約30,000千円の増としており、その収支差引(黒字額)は、24,659千円である。</p> <p>【4条予算(資本的収支)】 施設整備計画に基づく漏水多発区域の老朽管布設替(拡張改良費)や上宮津浄水場大規模改修の実施(浄水場整備費)、元金償還金の増などにより、収入、支出ともに増額となり、収支差引額(不足額)は177,899千円の不足である。</p>					
備考 (特記事項)	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度に石綿管の布設替が完了。令和2年度より漏水多発区域を中心に老朽管の布設替を計画的に実施。 上宮津浄水場大規模改修工事の実施(令和元年度～令和7年度(予定)) 					
担当部署	建設部 上下水道課 管理係	TEL	45-1633	特 8		

